

月間情報

2022
12月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらばら 休業日

日	曜日	催し物
1	木	
2	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
3	土	みきおもちゃ病院 ▲ パソコン定期相談 ▲
4	日	
5	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
10	土	三木断酒会定例会 ▲ 育児ファミサポ交流会（会員限定） ●
11	日	きらきら書道 ▲
12	月	BANBAN しゃべろう会 ■
13	火	
14	水	
15	木	市民活動センター休館日
16	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
17	土	
18	日	
19	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲ Happiness ♪ 公開練習 ▲
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
24	土	三木断酒会定例会 ▲
25	日	
26	月	BANBAN しゃべろう会 ■
27	火	
28	水	
29	木	

12/28～1/4 は 市民活動センター休館日

コミュニケーションマージャン 体験会

2人1組になって「頭」「身体」「口」を動かしながら、和気あいあいと皆で楽しめるコミュニケーションマージャンについて知り、実践までを楽しめる体験会です。家族や友人を誘って、お気軽にご参加ください。



- 日 時：毎月第1・3・5月曜日 10:00～11:30
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 主 催：みきコミュニケまあ〜雀「にこにこ」
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

三木断酒会 定例会

三木断酒サロンは酒害で悩み苦しんでいるご本人やそのご家族のための集いの場です。参加者は、酒害からの回復を目指し、語り合うことを通じて自分なりの考えを整理整頓していくことを大切にしています。また、酒害以外にも薬物やギャンブル、その他の依存症に悩んでいる方、一般の方にもご参加いただけます。

- 日 時：毎月第1・3土曜日 18:30～20:00
第2・4土曜日 14:00～17:00
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合先：三木断酒会会長 伊藤 庸博 ☎ 080-6174-6089

失語症者とその家族の会 BANBANしゃべろう会

BANBANしゃべろう会は、失語症の方とその家族が情報交換を行いながら交流し、気軽に集える場です。お気軽にお越しください。

- 日 時：毎月第2・4月曜日 14:00～16:00
- 会 場：三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘
- 参加費：150円
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

マガジン

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

ボランティア・市民活動情報「マガジン」は、ボランティア活動プラザみきのホームページからでもご覧いただけます

(発行)
三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp



12

Vol.301

2022.12.1

ご報告

みきボランティアフェスタ2022 開催しました!

～つながる市民力 いかにあう市民力～ 2022.11.20 sun

11月20日(日)、「みきボランティアフェスタ2022」が三木市立市民活動センターにて開催されました。コロナ禍3回目のフェスタ。感染症対策を徹底し、飲食ブースの復活や昨年は事前予約制だった体験ひろばを制限なしで行うなど、以前に近い形で実施。延べ1,300人が来場され、会場に活気があふれました。

講演会「ほっとけない! 地域づくりを考える集い」

今年のテーマは…「孤独や孤立を考える」

「孤独」「孤立」の現状、これからの地域のあるべき姿、今日から自分にできることを考える機会となりました。

考えてみよう：ご近所さんや自分自身のために、何ができる?

- 参加者の意見は…
- お互いに関心を持ち、それぞれの事情を話し合う
 - 気になる相手の別居家族とのつながりも意識した関係づくりなど

「地域の中でその人の存在が認められる、その人に役割がある地域や居場所をつくっていくことが大切」と、講師からあたたかいメッセージがありました。



講師と活動者のトークセッション



参加者による意見交換

体験ひろば

～ボランティア・市民活動団体の日頃の活動を体験～

16団体が
出展!

ボランティア・市民活動団体が日頃の活動を市民の方々に広く知っていただく場、関心を持っていただく体験ひろば。出展者と実際に顔を合わせ、触れ合いながら、活動の内容やその魅力をたくさんの方に伝えることができました。

体験者・出展者の反応は…?

- 楽しかった・面白かった・美味しかった!
- 自分もぜひ活動に参加したい!
- 体験者の笑顔が励みになった
- 出展団体同士のつながりが深まった

それぞれが感じたことが、今後の活動に繋がっていくことを期待しています。



子どもたちとの交流も♪

ぜひご覧ください!

フェスタ終了後も「ほっとけない!」(録画)をお届けしています。
ボランティア活動プラザみき YouTube チャンネルへ!



学校、地域、みんなでつくる「福祉学習」 ～豊地小学校4年生の取り組み～

ボラ・プラみきの
アクション・レポート
(37)

～市民のチカラ～

◆ 福祉学習とは…

地域の高齢者、障がい者など様々な人に関心を持ち、ちがいを認め合うことで、みんなが自分らしく毎日の生活をしあわせに生きていくための学びの機会です。小中学校での授業に盛り込まれることが多く、三木市では小学4年生が年間を通して取り組んでいます。

手話や点字の学習、車いす乗車など福祉に関する体験の機会が設けられますが、体験だけで終わりではありません。こども達がたくさんの人と関わりながら体験を繰り返し、生きた学びを重ねること。それにより意欲・自発性が高まることが重要だとされています。



り返りました。

自分と高齢者の違いについて、実際に関わったからこそ得られた気づきがたくさんありました。今後こども達は、高齢者とコミュニケーションをとる際の配慮や高齢者と一緒に何かする際の工夫をすることができるようではないでしょうか。また、「高齢者との交流」は相手の特徴を知ることだけではありません。この場での出会いをきっかけに、また次に出会った時「この前サロンで話したおばあちゃんだ」と気づいて声をかけたり手を振ってみたり…。そんなつながりが生まれるのも地域で福祉学習を展開する醍醐味です。



◆ 福祉学習が地域のつながるきっかけに…！？

福祉学習では、体験とふり返りを通して、関わる相手の気持ちや状況をとらえ、自分に何ができるのかを考える力をこども達は身につけていきます。そのため、身につけた力が活かされるよう、普段の生活の中で疑問をもったり、こたえや取り組みを見出したりするような働きかけが重要です。学校と地域が共に学びの場をつくることこそがまさにその働きかけです。また、こども達の地域の見方や住民との関係づくりが幅広くなることも期待されます。福祉学習をきっかけに、こども達と住民・地域との関わりが豊かになるといいですね。



助成金情報

助成金等名称 〔申請等期日・期間〕	助成内容	問合せ・申込先
2022年度近畿ろうきん NPOアワード 2023年1月31日(火) まで	〔目的〕 子どもや子育てに関わる支援など、子育て支援事業を応援します。 〔応募要件〕 近畿2府4県に主たる事務所を置き、非営利の市民活動・ボランティア活動を行うNPO法人と一般社団法人（非営利型）、法人格のない任意団体 〔助成対象事業〕 2023年4月1日～2024年3月31日に日本国内で実施する新規プログラム。 〔助成額〕 ※いずれかのコースを選択 〔はばたきコース〕団体規模に関係なく新規プログラムを募集 ●大賞（1団体）・・・50万円 ●優秀賞（2団体）・・・30万円 ●奨励賞（5団体）・・・20万円 〔はぐくみコース〕予算規模200万円以下の小規模団体を応援 ●はぐくみ賞（4団体）・・・10万円	申請書と提出書類を以下の応募・問合せ先へ郵送 近畿ろうきん 地域共生推進室 〒550-8538 大阪市西区江戸堀1-12-1 電話 06-6449-0842 FAX 06-6449-1414 ホームページ https://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/

フラザからの
お知らせ



ボランティア活動プラザみきの年末年始のお休みは、

12月29日(木)～1月3日(火)までです。

市民活動センターは12月28日(水)～1月4日(木)まで休館です。よいお年をお迎え下さい。

三木市には、周りの人を惹きつけ、きらっと輝く活動者さんがたくさんいます。そんな「きらっとさん」に活動のあれこれをお聞きます！

Vol.7

きらっとさんにインタビュー

第7回のきらっとさんは本郷和孝さんです。みきおもちゃ病院の代表や、民生委員の活動をされています。

活動を始められたきっかけを教えてください。

本郷：三木に住んで30年、三木市民として地域の役に立てないかと考えたんです。現役で仕事をしている頃はまさに企業戦士で、地域やボランティア活動は目に入らなかった。前ばかり見て走ってきたけれど、やっと周りを見る余裕ができた。今では活動が生活の1割を占めています。

活動を続ける中で、大切にされていることをお聞かせください。

本郷：自分の持っている力を出して、一生懸命頑張ることです。例えば「おもちゃ病院」では、仕事経験から電気機械の技術や知識を発揮することはもちろん、持ち主の思いと一緒に預かること。相手の気持ちに応えたいと思っています。

おもちゃ修理に責任を持って真剣に取り組まれている姿からは、活動に対する本郷さんの情熱が伝わります。対象の方との向き合い方にも、こだわりがあるようです。



聞いた人
ふじた

きらっとさん
本郷さん

本郷：自分の働きかけが一方通行にならないこと、相手と自分の思いが50：50であることを心がけています。相手の強い想いには力強く応えるし、緩やかならこちらも穏やかに対応する。そのバランスが崩れると、相手も私もしんどくなりますよね。

今後どんな風に活動しようと思っていますか。

本郷：地域で活動することで退職後の人生が豊かになった。こうして自分の話ができるのは、聞く人がいるから。地域の関係が希薄になり、つながりを望まない人もいます。でも役に立ちたい思いはあるのでは。活動を通して出会う人がつながり、楽しみが生まれるようにと思っています。

地域の役に立つことが嬉しいと話されていた本郷さん。優しい笑顔の奥の、ご自身のぶれない軸が印象的でした。

